

資材・機器・工法等調書作成特記仕様書

1. 請負人は、本工事に使用する下水道工事主要資材・機器・工法等調書について、別紙の様式に基づき集計し、本市に提出すること。
2. 調書の提出は、工事完成検査時、もしくは工事中の本市の指示する時点のいずれか1回とする。なお、工事中の場合は、工事完成時の見込みで計上すること。
3. 本調書の作成について不明な事項は、監督員に問い合わせること。

調書名	資材調書
項目名	管材延長
調書No.	調書2-1
事業区分	1. 公共

都道府県	28. 兵庫県
団体	100. 神戸市

(1) 管きょ工事

1) 幹線、枝線

(単位：m)

管種		管径 (mm)	0	250	350	351	500	1,000	2,000	3,000	5,000	計	
			~200	~300	~350	~450	~900	~1850	~2800	~4800	以上		
開削用	陶管											0	
	合成樹脂系管	塩ビ管											0
		リブ管											0
		強プラ管											0
		その他											0
		小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コンクリート管	ヒューム管											0
		レジン管											0
		小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	推進管	ヒューム管											0
レジン管											0		
塩ビ管											0		
ガラス繊維鉄コン管											0		
ダクタイル鋳鉄管											0		
陶管											0		
鋼管											0		
その他											0		
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
セグメント用	鋼製	SS材										0	
		SM材										0	
	コンクリート製											0	
特殊管等	鋼管											0	
	鋳鉄管											0	
	既成ボックスカルバート											0	
その他()												0	
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
更生工法	反転工法											0	
	形成工法											0	
	製管工法											0	
	合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	

2) 取付管

(単位：m)

管種		管径 (mm)	0	150	250	350	以上	計
			~100	~200	~300	以上		
取付管	陶管							0
	塩ビ管							0
	ヒューム管							0
	その他()							0
	合計			0	0	0	0	0
	更生工法	反転工法						0
		形成工法						0
製管工法							0	
合計			0	0	0	0	0	

- 注) 1. 整数で記入。箇所数としないこと
2. 円形断面以外の管きょの管径については、換算管径 = $2\sqrt{\text{断面積}/\pi}$ で換算すること。
3. 推進管は他の管種と二重計上しないこと。
4. 更生工法は、改築の「更新」及び「改良」を対象とし、「修繕」は含まない。
また、対象とする工法は反転工法、形成工法、製管工法とし、鞘管工法は含まない。

調書名	資材調書
項目名	管材延長
調書No.	調書2-1
事業区分	1. 公共

都道府県	28. 兵庫県
団体	100. 神戸市

(2) ポンプ場・処理場工事<場内配管>

(単位：m)

管種	管径 (mm)	0	250	350	351	500	1,000	2,000	3,000	5,000	計	
		~200	~300	~350	~450	~900	~1850	~2800	~4800	以上		
開削用	陶管										0	
	合成樹脂系管	塩ビ管										0
		リブ管										0
		強プラ管										0
		その他										0
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コンクリート管	ヒューム管										0
		レジン管										0
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	推進管	ヒューム管										0
レジン管										0		
塩ビ管										0		
ガラス繊維鉄コン管										0		
ダクタイル鋳鉄管										0		
陶管										0		
鋼管										0		
その他										0		
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
セグメント用	鋼製	SS材									0	
		SM材									0	
	コンクリート製										0	
特殊管等	鋼管										0	
	鋳鉄管										0	
	既成ボックスカルバート										0	
その他()											0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 注) 1. 整数で記入。箇所数としないこと
 2. 円形断面以外の管きよの管径については、換算管径 = $2\sqrt{\text{断面積}/\pi}$ で換算すること。
 3. 推進管は他の管種と二重計上しないこと。

調書名	資材調書
項目名	現場打ち管きょ延長
調書No.	調書2-2
事業区分	1. 公共

都道府県：	28. 兵庫県
団体：	100. 神戸市

(単位：m)

管種 \ 管径	0～999mm	1,000 ～1,999mm	2,000 ～2,999mm	3,000 ～4,999mm	5,000mm以上	合計
三面張						0
ボックスカルバート						0
山岳トンネル						0
その他()						0
計	0	0	0	0	0	0

注) 1. 延長を整数で記入。

2. 円形断面以外の管きょの口径については、換算管径 = $2\sqrt{\text{断面積}/\pi}$ で換算すること。

3. 調書2-1の管材延長で挙げたもの以外を対象とする。

調書名	資材調書
項目名	マンホール個数
調書No.	調書2-3
事業区分	1. 公共

都道府県:	28. 兵庫県
団体:	100. 神戸市

(1) 現場打ちマンホール

(単位:ヶ所)

呼称		1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	特1号	特2号	特3号	特4号	その他	計
分流	雨水													0
	汚水													0
合流式														0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 組立マンホール

(単位:ヶ所)

呼称		円形小型			円形					計			
		30	40	60	0号	1号	2号	3号	4号		5号	その他	
分流	雨水												0
	汚水												0
合流式													0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 楕円等(円形以外)のマンホールは直径の長い方の寸法を基準として記入してください。

(3) レジンマンホール

(単位:ヶ所)

呼称		円形小型			円形				計		
		30	50	60	0号(75)	1号(90)	2号(120)	3号(150)		4号(180)	
分流	雨水										0
	汚水										0
合流式											0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 楕円等(円形以外)のマンホールは長て方向の寸法を基準として記入してください。

(4) 小型マンホール(硬質塩化ビニル製)

(単位:ヶ所)

呼称等		呼び径等 250以下	マンホール 径 300※	呼び径等 350以上	計
分流	雨水				0
	汚水				0
合流式					0
計		0	0	0	0

※ JSWAS K-9等

(5) マンホール蓋調書

(単位:ヶ所)

呼称	300	400	500	600	900	900-600 (親子式)	その他	計
新設								0
交換								0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

※ マンホール蓋とは、マンホール蓋単体又はマンホール蓋及び蓋わくをセットで設置したものをいう。

調書名	資材調書
項目名	その他資材使用量
調書No.	調書2-4
事業区分	1. 公共

都道府県	28. 兵庫県
団体	100. 神戸市

(1) コンクリート、鉄、土壌凝結固化剤ほか

資 材	使用工事	土木			建築		計
		管きよ	ポンプ場	処理場	ポンプ場	処理場	
コンクリート (m ³)	捨てコンクリート						0
	無筋コンクリート						0
	鉄筋コンクリート						0
	その他						0
	計	0	0	0	0	0	0
鉄 (t)	鉄筋	～13					0.0
		16～					0.0
	鋼矢板						0.0
	ライナープレート						0.0
	鉄骨						0.0
	その他						0.0
※除、鋼管パイル	計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
土壌凝結硬化剤	水ガラス系(kL)						0
	セメント系(kL)						0
	ペントナイト(kg)						0
	その他()						0

- 注) 1. 鉄は、述べ数量について小数第2位を四捨五入し小数1位で記入する。
 2. 鉄以外は、述べ数量について小数1位を四捨五入し整数で記入する。
 3. 鉄は消費されてしまうもののみを対象とし、仮設として損料計上のは除く。
 (鋼矢板、ライナープレートは残置のもののみ)
 4. コンクリート、鉄には現場打ちボックスを含む。

(2) 既製杭

資 材	使用工事	土木			建築		計
		管きよ	ポンプ場	処理場	ポンプ場	処理場	
既製杭 (m)	RC	0～φ299					0
		φ300～φ399					0
		φ400～φ499					0
		φ500～φ599					0
		φ600以上					0
		小計	0	0	0	0	0
	PC	0～φ299					0
		φ300～φ399					0
		φ400～φ499					0
		φ500～φ599					0
		φ600以上					0
		小計	0	0	0	0	0
	AC PHC	0～φ299					0
		φ300～φ399					0
		φ400～φ499					0
		φ500～φ599					0
		φ600以上					0
		小計	0	0	0	0	0
	鋼管 (H鋼含む)	0～φ299					0
		φ300～φ399					0
		φ400～φ499					0
		φ500～φ599					0
		φ600以上					0
		小計	0	0	0	0	0
その他()	0～φ299					0	
	φ300～φ399					0	
	φ400～φ499					0	
	φ500～φ599					0	
	φ600以上					0	
	小計	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	

- 注) 1. 述べ数量について小数1位を四捨五入し整数で記入する。
 2. S C杭については「その他」に記入する。

調書名	工法調書
項目名	開削工法延長
調書No.	調書4-1
事業区分	1. 公共

都道府県：	28. 兵庫県
団体：	100. 神戸市

(単位：m)

区分 \ 工法	一般	低騒音低振動工法	簡易土留工法	合計
薬注工法併用				0
薬注工法併用なし				0
計	0	0	0	0

注) 【一般】土留め工時に普通型油圧ハンマーや普通型バイブロハンマーを使用するものをいう。
【低騒音・低振動工法】土留め工時に油圧圧入機等を使用するものをいう。
【簡易土留工法】木矢板工法、軽量鋼矢板たて込み工法、たて込み簡易土留め工法等をいう。

調書名	工法調書
項目名	特殊工法
調書No.	調書4-2
事業区分	1. 公共

都道府県	28. 兵庫県
団体	100. 神戸市

工法		形式		スパン数	延長 (m)	
推進工法	中大口径推進	開放型	刃口式			
			手掘り機械式			
			半機械式			
			部分開放型ブラインド式			
			その他()			
		密閉型	泥水式			
			土圧式			
			泥濃式			
			その他()			
		小計			0	0
	小口径推進	高耐荷力方式	圧力方式	一工程式		
				二工程式		
			オーガー方式	一工程式		
			泥水方式	一工程式		
				二工程式		
		泥土圧方式	一工程式			
		その他()				
		低耐荷力方式	圧入方式	一工程式		
				二工程式		
			オーガー方式	一工程式		
泥水方式			一工程式			
鋼製さや管方式		圧入方式	一工程式			
			一工程式			
		ボーリング方式	一重ケーシング式			
			二重ケーシング式			
泥土圧方式		一工程式				
その他()						
小計			0	0		
中計			0	0		
シールド	全面開放型	手掘り式				
		半機械掘り式				
		機械掘り式				
	部分開放型	ブラインド式				
	密閉型	泥水式				
土圧式						
小計			0	0		
山岳トンネル						
その他()						
合計				0	0	